

西区地域福祉ビジョンの取組み

『学校との連携による子育て世帯の支援』



令和4年度に策定した第2期「西区地域福祉ビジョン」にかかる取組みを紹介します。
今回のテーマは、「学校との連携による子育て世帯の支援」についての取組みです。

大阪市こどもサポートネット

西区役所（保健福祉センター子育て支援室）では、スクールソーシャルワーカーやこどもサポート推進員などの専門職が、小中学校と連携して支援の必要な児童・生徒を保健福祉の支援制度や適切な地域の支援者等につなぐことにより地域全体で支える「こどもサポートネット事業」の充実に取り組んでいます。

また、ヤングケアラーなどへの対応も含め、スクールカウンセラーの配置により、相談支援体制の充実を図るとともに、こどもサポートネットや区の専門職との連携を図っています。



大阪市 HP
こどもサポートネット

【こどもと子育て世帯の総合的支援体制】

大阪市が平成 28 年に実施した「子どもの生活に関する実態調査」の分析から、支援の必要なこどもや世帯については、複合的な課題を抱えていることが多く、総合的な支援が必要ですが、各種施策が十分に届いていないといったことが明らかになりました。

大阪市こどもサポートネットは、支援の必要なこどもや世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、社会全体でこどもと子育て世帯を各種施策により総合的に支援する取組みです。

事業目的

背景

平成28年度に実施した「子どもの生活に関する実態調査」から見えた4つの主な課題の1つに、「必要な支援制度が届いていない」という課題があった。

課題

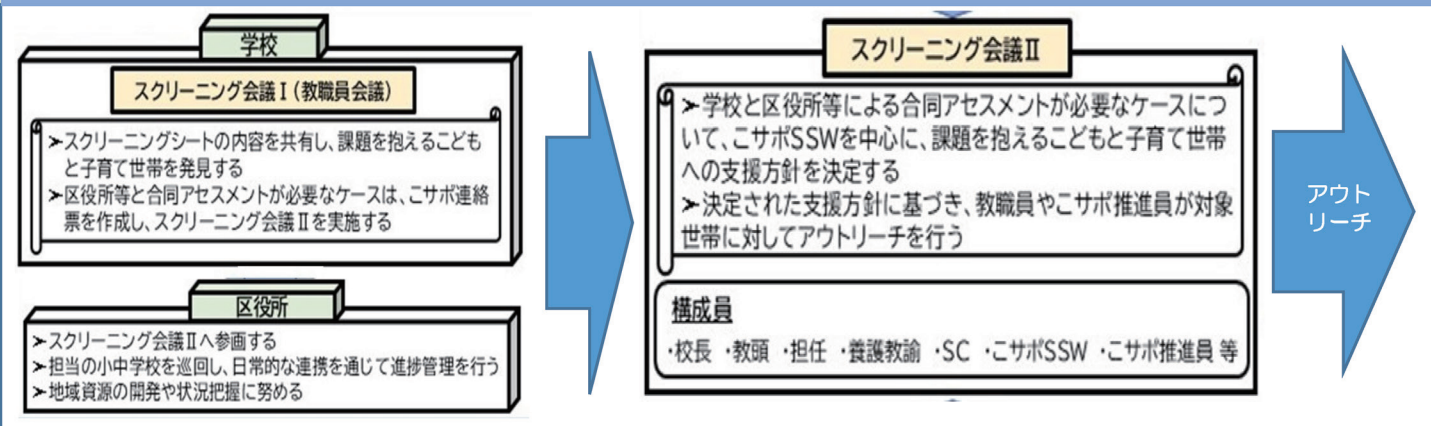
- 学校
 - >保健福祉制度等に関する知識が十分でなく、現場のみでの対応が困難である。
- 区役所
 - >制度を届けるべき課題を抱えた世帯の把握が困難である。

大阪市こどもサポートネットの構築

- すべてのこどもたちの状況を把握する
- こどもと子育て世帯に必要な支援につなげる

学校生活や家庭生活・家庭環境、経済的困窮等の課題を抱えたこどもと子育て世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みをこどもの貧困対策として区長マネジメントにより構築。地域資源も活用しながらこどもと子育て世帯を総合的に支援する。

事業内容

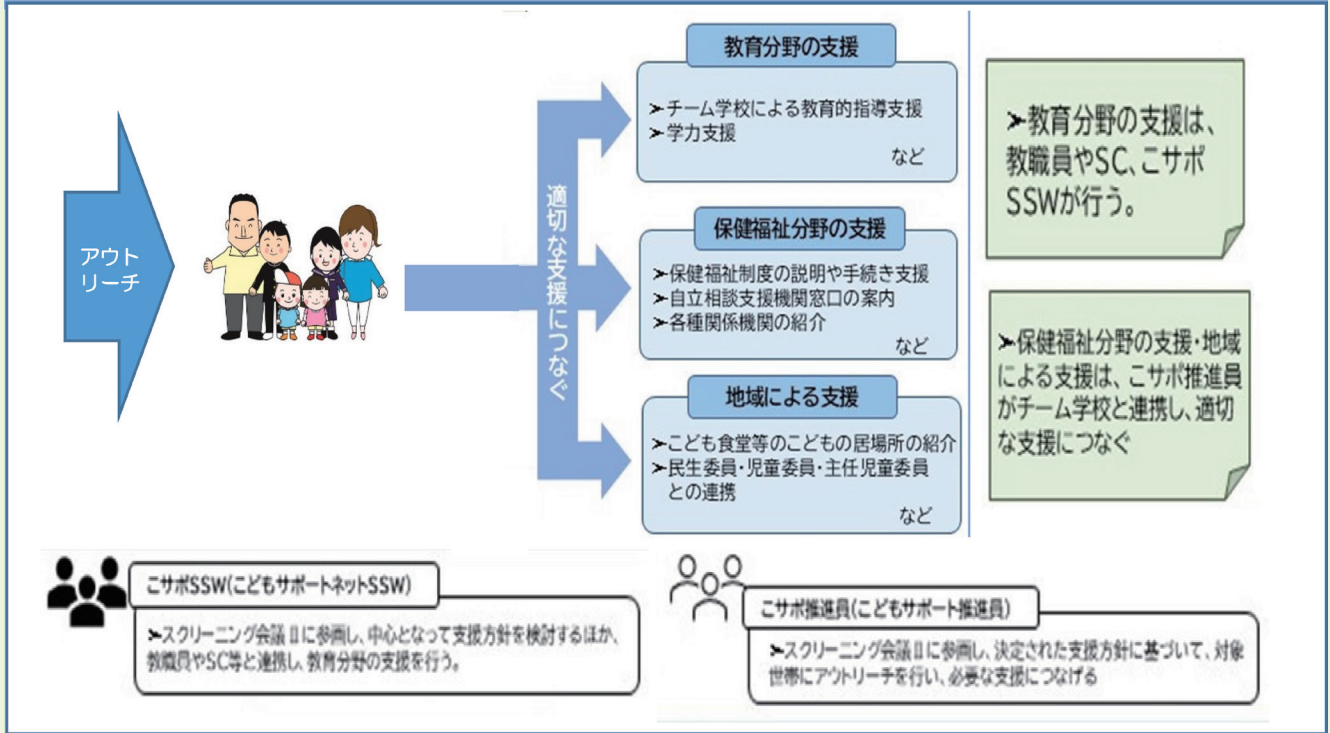


町会は、住民の自治組織です。「地域のきずなづくり」のため町会に加入して、地域の活動に参加しましょう。

お住まいの地域を
こちらから検索できます！



事業内容（続き）



スクールソーシャルワーカー（SSW）の役割

スクールソーシャルワーカーとは？

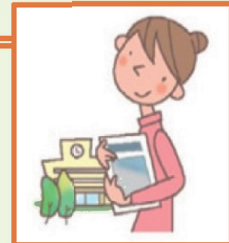
特定の資格制度はないが、社会福祉士や精神保健福祉士等の資格を有し、教育現場等での経験を併せ持つ専門家

- ・ 学校内あるいは学校の枠を超えて関係機関等と連携し、問題を抱えるこどもの課題解決を図るためのコーディネーター的な役割を果たします。

スクールソーシャルワーカーの職務内容は？

- ① 問題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけ
- ② 関係機関等とのネットワークの構築・連携・調整
- ③ 学校内におけるチーム体制の構築・支援
- ④ 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
- ⑤ 教職員等への研修活動等

・ 学校、家庭、地域等、こどもに関わるすべての背景や状況を視野に入れながらケース会議等を実施し、「見立て」「手立て」を教職員等と共有し、それぞれの役割分担等を明確にしなが、チーム学校としての支援体制でこどもを取り巻く環境の改善を図ります。



事業実績

こどもサポートネット

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援提供数	94	274	931	1,317	1,111

ヤングケアラーなど新たな課題への対応も含め、スクールカウンセラー（SC）の配置により、区内の全小中学校の児童生徒や保護者、教職員への相談体制の充実を図るとともに、区役所専門職との連携を図っています。

